

## 俳句50選

首藤 静夫

柳川彰治編著『私の好きなこの一句』が面白かった。九年前の俳句本で、当時の現役俳人に広くアンケート調査を行い、「好きな一句ベスト〇位」を発表した。テレビで見ると、好きな歌謡曲ベスト〇の俳句版である。集計は、最も好きな一句（三点）と次に好きな句（最大十句）（各一点）を挙げて貰い、合計得点で順位をつけた。皆さんの予想はいかがだろうか。ベスト50句を見る。虚子が5句、芭蕉が4句、蕪村、蛇笏、草田男、兜太が3句でさすがだ。子規、誓子、龍太、秋桜子、万太郎の2句も順当だ。いずれも有名な句が並ぶ。ところが波郷がない、一茶もない。どうしたことだろう。波郷はやっと61位に、一茶は何と91位に一句。

特筆すべきは杉田久女だ。ベスト50句の中に3句選ばれている。在世中は句の外で物議を醸した彼女だが作品はすばらしい。

- 7位 花衣ぬぐやまつはる紐いろいろ
- 14位 飮して山ほととぎすほしいまま
- 42位 足袋つぐやノラともならず教師妻

夫は気合いの入らない美術教師、その傍らで俳句に没入する彼女の気迫がうかがえる。うちの妻が俳句、短歌に携わらずに良かった。

人気ベスト10は次のとおりである。

- 10位 菜の花や月は東に日は西に 蕪村
- 9位 去年今年貫く棒の如きもの 虚子
- 7位 外にも出よ触るるばかりに春の月 汀女
- 7位 花衣ぬぐやまつはる紐いろいろ 久女
- 6位 夏草や兵どもが夢の跡 芭蕉
- 5位 一月の川一月の谷の中 龍太
- 4位 遠山に日の当りたる枯野かな 虚子
- 3位 おりとりてはらりとおもきすすきかな 蛇笏
- 2位 芋の露連山影を正しうす 蛇笏
- 1位 海に出て木枯帰るところなし 誓子

飯田蛇笏、龍太が親子で3句を占めている。虚子も2句入っている。芭蕉と蕪村の句数が淋しい。

人気1位の山口誓子の句は昭和十九年十一月の作。作者は結核で療養中だった。木枯は、片道燃料で飛び立ち帰ることを許されなかった特攻隊員の象徴とされる。病中の伊勢で鈴鹿おろしに身をさらしながら、渾身の一句をひねり出したのである。